

2/13-17

★バイブルミュージアム★ アイテム積み下ろしボランティア感想文



●ボランティアに参加して、5台のハイキューブ大型コンテナの積み下ろしや愛郷学校の掃除、共同生活など貴重な体験をすることができました。

特に合計約32トンになるアイテム積み下ろしでは、エイジング加工の施された扉や壺、1世紀のイスラエルを想像させるインドから直輸入の農具などに触れることができ、聖書の時代をリアルに実感することができました。でも、十字架や神殿の扉、本物そっくりのオリーブの木など、10人でないと運べないほど重たい物や大きな物もあり、気の抜けない大変な仕事でもありました。また、共同生活ではいつも会うことのできない友だちや、会ったことのなかった方々と交わって良かったです。

そして、このボランティアを通して、神様の恵みを沢山体験することができました。天候も守られ、大きな怪我もなく、何よりコン

テナの税関通過が許されたことは、神様が与えてくれた大きな恵みでした。もし、通過が許されなければ抜き取り検査から全品検査に切り替えられ、ボランティアは延期になると聞かされていたので、特別に神様の深い憐れみを感じました。

この5日間を通して、2つの御言葉が心に残りました。1つ目は『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ』(マタイ 19:19)です。仕事が終わって疲れると、友だちに対して冷たい態度をとってしまい、きつい言葉を言ってしまったことが何度かありました。しかし、この御言葉を思い出し、自分の内にある自己中心の罪を気づかされました。2つ目は、『小さいことに忠実な人は、大きいことにも忠実であり、小さいことに不忠実な人は、大きいことにも不忠実です。』(ルカ 16:10)です。2日目の夕食の食器洗いを終えた後に、すぐに料理長に呼び出され、洗面器についている



それでも行きたいという思いと、何よりも神様の導きを感じ、自分の予定はいろいろあるけどそれ以上の祝福と良い経験を神様が与えて下さるんじゃないかと思い、参加することを決めました。

出発する時、覚悟はして行きました。申し込む前に稲葉さんの文章を読んだ時、この積み下ろしの作業は今まで経験したことのない大変な力仕事であり、大きな危険を伴うことが分かったからです。1つでもミスしたら大きな怪我をする可能性がある、もしかした

ら人生初の骨折だってあり得る、そういう心配が出てきました。でも神様は最後まで作業する全員と共にいて下さると信じ行きました。初めて間近で見るコンテナは大きかったです。そしてその中に大量に詰め込まれていたアイテムにビックリしました。中には1人で持てるようなものから、750kgくらいの人間の力だけでは持ち上がらないものまでありました。それらを運びながら聖書の時代の道具はこんなものだったんだと手に取って感じました。

コンテナから積み下ろしてそれを学校の教室などに入れる作業はきつかったです。3日目4日目になってくると、積み下ろしの作業が夜の夢にまで出てきました(笑)。夢の中のその作業が現実そっくりだったのが、今も少し記憶に残っています(笑)。けれどもすごくやりがいのある、楽しい作業でもありました。

そこでの生活もすごく良かったです。食事もうごくおいしかったし、寝る環境も良く、夜は気持ちよく寝ることができました。そして僕にとってはめったにない集団生活、多くの人たちと交わりもできてとても良かったです。

●バイブルミュージアムアイテム積み下ろしボランティアに参加できて感謝な時でした！まず、今回のボランティアに参加できて、作業しながら、また帰って来てからも改めて本当に良かった、良い経験ができたと思いました。このボランティアについて聞いたとき、行きたい！と思いましたが、約1週間のスケジュールだったので勉強のことやボランティア後の予定などで参加するかすごく悩みました。最初は行かないと決めようと思いましたが、

それから人生初の骨折だってあり得る、そういう心配が出てきました。でも神様は最後まで作業する全員と共にいて下さると信じ行きました。初めて間近で見るコンテナは大きかったです。そしてその中に大量に詰め込まれていたアイテムにビックリしました。中には1人で持てるようなものから、750kgくらいの人間の力だけでは持ち上がらないものまでありました。それらを運びながら聖書の時代の道具はこんなものだったんだと手に取って感じました。

コンテナから積み下ろしてそれを学校の教室などに入れる作業はきつかったです。3日目4日目になってくると、積み下ろしの作業が夜の夢にまで出てきました(笑)。夢の中のその作業が現実そっくりだったのが、今も少し記憶に残っています(笑)。けれどもすごくやりがいのある、楽しい作業でもありました。

そこでの生活もすごく良かったです。食事もうごくおいしかったし、寝る環境も良く、夜は気持ちよく寝ることができました。そして僕にとってはめったにない集団生活、多くの人たちと交わりもできてとても良かったです。

そしてこれは本当に神様の恵みだと感じたのが、元々月曜日から土曜日までのスケジュールの予定が金曜日に帰れるという1日スケジュールが早くなったことです。火曜日から

木曜日の間に計5本のコンテナの積み下ろしが完了しました。月曜日バスで東京を出発する時、その日コンテナが税関で問題が起きてしまったら木曜日くらいに途中帰宅という可能性があったのが、なんと全部の作業を終えて予定より1日も早く帰るなんて想像もしていませんでした。僕は元から1日早く金曜日に帰らせてもらうことになっていたのですが、僕自身の予定に大きな変化はなかったのですが、これは神様の力があってこそその結果だと思います。

最終的に誰も骨折など大きな怪我なく終われて良かったです。出発する前、筋肉痛は相当な覚悟を持って行きましたが、火曜日あたりがピークで、それからは体が力仕事仕様になったのか筋肉痛はほとんどなくなり、こんなに重たいものたくさん持っているのに何で痛くならないんだ?とビックリしました(笑)。本当に神様が大きな祝福と経験を与えて下さり感謝でした!このバイブルミュージアムの計画が主にあって良いものとなっていくように祈っていきたいです! (神奈川 Bくん)

●今回、新しく知り合った子や、中学生とか年下の子も多かったですが、皆1つの目的に

向かって1つになって頑張ることが出来て、とても楽しかったです。

実際に大きなコンテナや重そうな荷物を見た時は、体力が少し心配になりました。でも、初日の夜の堀井さんのメッセージで、稲葉さんがこのプロジェクトを進める中で、困難や試練が沢山あっても1つも諦めずに、神様の導きを信じて前進してきた事から、神様にあってNever give upだということが語られたのを思い出しました。諦めたくなる時は、いくらでも理由を付けて正当化出来るけれど、でもその先にある神様の祝福やご計画を見ることは出来ない。最近、勉強ややるべき事で嫌だと思ったり、難しいと感じたら、すぐに逃げようとしていた事を、神様に示された気がしました。どんなに大きくて重い荷物でも、男女関係なく誰も不平を言わずに積極的に協力しあって運ぶ中で、すごく励まされました。実際に2日目から筋肉痛がひどかったですが、心身共に鍛えられて逆に嬉しい痛みでした(笑)。

ボランティアはお金が貰えたり、何か見返りがあるわけでは無いけれど、校舎の教室に積み上げられていく荷物の山を見ながら、これが天に宝を積んでいくことなのかなあ、と思いました。バイブルミュージアムという大きなプロジェクトにほんの小さなお手伝いですが、参加させて頂けて本当に感謝しています。また機会があれば参加したいです。(愛知 Cさん)

●今回のボランティア活動は、最初は楽しみだったのですが、実はその後少し行きたくなくなりました。何故なら女子は料理だけをすると思っていたからです。しかし、そ



の後両親と行く意義を話し合い、これはみんなに会えるから行くのではなく、楽しみのために行くのでもなく、重労働を通して本当の意味で仕えることを学ばせてもらう機会なのだと思います、参加させてもらうことにしました。

実際ボランティアに行ってみて、私が年長者グループだったので、良いリーダーになれないのではないかと初日は少しストレスを感じました。しかしリーダーシップをとることよりも、自分がしっかりとした目的を持っている

ことが大事だということに気づかされ、仕事も一生懸命しようと再び思えました。ちなみに、みんなで過ごす中で、年下のみんなが本当に可愛いと思いました。あれほど素直で可愛いのはホームスクールで育ったからかなと思います！

仕事は、事前の予想と違い、自分が願っていた重いダンボールを運ぶ仕事が多く与えられ、少し筋肉痛にもなるほどでした。荷物を運ぶことだけでなく、料理をしたり学校を掃除できたことも本当に良かったです。まず料理は、あれほど大人数の食事を作ったことがなかったので、とても新鮮で良い体験ができたと思います。裏の奉仕を見、大変さを少しだけ実感できたことも感謝でした。また、とにかく楽しかったです！学校の掃除も充実していました。私はプラスチック、金属の仕分けなどの細かい作業が得意でないので、忍耐力を学べたかなと思います。

また、聖書からのメッセージを毎日聴けたことは本当に良かったです。毎日チャレンジを受け、仕事をきちんとするモチベーションにもなりました。本当に、今回のボランティアに参加できて良かったです！労働や交わりを通して、日々のホームスクールではできな



い様々な貴重な体験ができたと思います。企画してくれた皆さんに感謝です！また機会があれば是非参加したいです。本当にありがとうございました！！（東京 Dさん）

●本当のことをいうと、私はあまりボランティアに行きたくありませんでした。外泊自体があまり好きではないし、嫌なことがあったらどうしよう、仲間はずれになったらどうしよう、と、とても不安でした。ですが、行ってみたら、とてもとても楽しくて、今は本当に行ってよかったな、と思っています。仕事はとても大変でしたが、やりがいはあったし、楽しいことも沢山あり、とても充実した五日間でした。

二番目に、私は力がなく、かといって料理がうまいわけでもないのに、行ってもやることがあるのだろうか、という不安もありましたが、行ってみると、確かに荷物は重かったのですが、軽い荷物から始めて、だんだん重い荷物を運びながら、筋肉疲労を恐れず喜びながら訓練していく方法を教えてくださいましたので、「これは絶対無理！」と感じたり、鼻血が出たり、ということはなく、全て持つことが出来ました！軽い腕の筋肉痛はあったものの、

みんなで、「痛い痛い」と笑い飛ばせるほどの痛みで、逆にちょっと気持ちいい、というか、面白かったです。

料理も、味付けや火を使う作業など、難しい工程は全てノリさんや年上のボランティアの皆さんがやってくれて、食材を洗う、切る、キッチンを掃除するなどの仕事だけをやったので、全く困りませんでした。また、

四十人分の料理なので、量がすべてにおいてとても多くて、びっくりしました。特に、ご飯を40合も炊いた時は、(私ではなく、別の子が洗うのを隣で見ていたのですが)とても洗うのが大変そうで、すごいな、と思いました。そのご飯が全部なくなったのを見て、もっと驚きました。楽しいことが多かったです。

特に、最終日に壺などを並べて小さな美術館を作ったのは興味深かったです。そういったもののなかには、タコ焼き器のような小さな穴が沢山開いたお皿や、何に使うのかよくわからない色々な物、ランプ、私の身長ぐらいあるのに、片手で持てるほど軽い壺など、見ているだけで、どんなことに使うのだろう、あの時代はこんなものを使っていたんだな、とまるで宝探しや推理をしている気分になりました。特に、まるでシェフがかき回していそうな雰囲気、とても大きい銅鍋があったのですが、中に入ってもいいよ、と言われ、中に代わる代わる入ったことには、とてもわくわくしました！

人間関係についても、とても楽しく、色々な子と沢山話しをしたり、活動をすることが出来てとてもいい時が持てたと思っています！沢山のお菓子が次の日の夜には全てなくなってしまったり、それぐらい、沢山話すこ



シュロの木の葉っぱ運び (イエスのエルサレム入城シーン用)

とが出来て嬉しかったです。朝早く起きて外へ散歩に行く子もいて、四時半あたりから色々な子のアラームが鳴りだし、鳴ったアラームの主の子が起きている様子が、聞いていて楽しく、朝の時間はとても好きでした。映画や劇のワンシーンみたい！素敵！と一人で盛り上がっていました。

また、今回はサバイバル体験、ということで、(もちろん海外に行っている伝道チームに比べたら、とても恵まれた環境にいるのですが)普段生活していて、思いもよらなかったことをいくつか経験しました。例えば、女子寮にも学校にも、もちろんヒーターはありません。ストーブは女子寮やキッチン、食堂にありましたが、ボタンを押したらすぐに暖くなるわけではなく、少し待って、やっと火が付きます。そういった不便さも、今まで感じたことがなく、体験して、今まで自分がとても恵まれた環境にいたんだな、と思いました。けれど、そういった人里離れた学校だからこそ体験できたこともありました。とりわけ、星空はとても印象的でした。夜空は、とても素晴らしく感じられ、空に呑まれそう、星が落ちてきそう、といった言葉の意味を体感することができました。このような空をお造りになった神様は、本当に人間には真似なんて到

底できないほど、すごい方なんだなあと改めて思い知りました。

最後に、聖書についても良い学びができました。特に最後のトーマスさんの、「毎日が、神様の言うことを聞くか聞かないか、選択だよ」というメッセージがとても心に残っていて、それ以降、何かするとき、これは神様が喜ぶ行動かな、それとも悲しむ行動かな、と考えることが出来るようになりました。他の様々なメッセージも本当に素晴らしかったです！また、最終日、全ての作業が終わった直後に雨が本降りになった時は、神様は私たちのことを祝福し、色々な方法で支えてくださっていたのだなと気が付き、とても驚きました。本当に霊的にも、肉体的にも、成長できた五日間でした。次回のボランティアにも、参加させていただきたいです！五日間、ありがとうございました！（東京 Eさん）

●今回のボランティアに参加した理由とその感想を述べる。このボランティアに参加することを決めた理由は二つある。

一つ目は、一つ一つの作業などを通して得られる経験が自分自身の成長につながることを期待したからだ。二つ目は、自分以外の参加者との交わりを通して激励を受け、勇気づけられることを望んだからだ。

今回のボランティアに参加することによって学ばされたことは、一瞬一瞬に集中することの大切さだ。考え事ばかりしていると作業に支障を来たしてしまう。今回の経験を通して、普段の生活においても意味を成さない考え事をしたり、将来の心配をしたりすることで各瞬間に集中できていなかったことに気づかされた。また、伝道者の方々と過ごす中で、伝道に対する熱意が新たにされたことを感じた。このようなすばらしいボランティアに参加する機会を与えて下さった一人一人に、この場にて感謝の意を表することができればと思う。（東京 Fくん）

●今回、バイブルミュージアムのボランティアに参加して、アクシデントがあったけど、とても良い経験ができて楽しかったです。1日目は、保存場所の清掃や準備で、あっという間に感じました。2日目から本当の重労働が始まりました。コンテナから出てきた小さいお皿から、高さが4mほどありそうな大きな扉まで、たくさんの物をみんなで運びました。4日目のことです。荷物を運んで、校内に戻ろうとトラックの横を通った時、「イタッ！」右足の土踏まずのところに痛みが走りました。見ると、足元には釘の刺さった木が置いてあり、よく見ていなかったのでも、踏んでしまいました。「ばんそうこうありますか？」すぐに稲葉さんに聞きました。そして、消毒液となぜかトーマスさんにイソジンを塗ってもらい、稲葉さんとすぐに近くの病院に行きました。病院の先生は、「これくらいなら問題はないだろう」とおっしゃっていたので、安心しました。その後は、特に大きな痛みも感じなかったので、みんなと作業に戻りました。このことで、皆さんには心配をかけてしまいました。自分の傷は小さな傷だったけど、イエス様がその何百倍もの痛みを受けて、十字架に架かってくださったんだなあと思いました。最終日は、学校の掃除と用具の片づけをして終わりました。あっという間の5日間でしたが、とても良い経験ができました。ありがとうございました。（富山 Gくん）

●「神の御国の建設に携われる喜び」

「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんとという幸せ、なんとという楽しさであろう。それは頭の上に注がれた尊い油のようだ。それは髭に、アロンの髭に流れて その衣の襟にまで流れ滴る。それはまたシオンの山々におりるヘルモンの露にも似ている。主がそこにとこしえのいのちの祝福を命じられたからである。」詩篇 133 篇

今回、神の民と共にバイブルミュージアムのボランティア活動に携われた事を心より神

様と、スタッフの皆さんに感謝します。全てが祝福されたボランティア活動でした。現場監督をされた丸森の方々の指導もとても良かったです。チームワーク良く働き、個人とチームの相乗効果は絶大でした。

この働きを通して、バイブルミュージアムで展示される物を見ることが出来、新約時代の聖書のストーリーが頭に浮かびました。日ごろ触れることができない、沢山の物に触れ、とても興奮し楽しかったです。日本にバイブルミュージアムができることを想像し、その素晴らしさにワクワクしました。又、丸森の方々に、走っているトラックの荷台に乗せて頂き、日常ではあり得ない体験をさせてもらえ、ここでも興奮しました。僕は木曜に帰る予定でしたので、その晩に行く温泉には行けないはずでした。しかし、神様の憐れみで、何と温泉行きが水曜に変更され、温泉に行くことが出来ました。ここでも、温泉の楽しみだけではなく、往復のバスの中で兄弟たちと良い交わりができ、神様に祝福され、とても良い思い出になりました。

その他にも、ここでは書ききれないほど多くの貴重な体験ができ、唯々神様に感謝でした。今回残念ながら、筋肉不足のため、少し肩が痛みましたが、これも神様がすべてを働かせて益としてくださいました。今は次回のボランティア活動に備えて筋トレを頑張っています。次回も楽しみにしています。

「互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。もし互いの間に愛があるなら、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、すべての人が認めるのです。」ヨハネ 13章 35節 「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」1テサロニケ 5章 16節~18節
感謝して (東京 Hくん)

●今回、参加させていただいたボランティアは自分にとって、とても貴重な体験になりました。キリストの時代に使われていた物のレプリカにたくさん触れました。どれも、エイジングが素晴らしく、新品には見えないようなものばかりでした。作業の中でトーマスさん、航二さん、落合さん、ほかのみなさんにもたくさん教えられ、励まされました。夕食の時の、メッセージもとても心に刺さりました。今まであまりコミュニケーションできなかった北陸、長野の兄弟たちと交わられたのも良かったです。行き帰りのバスの中での交わりもとてもいいものでした。ふろ掃除に覚醒してしまったのもいい思い出ですね(笑) またこのようなボランティアの機会、そして交わりの機会が与えられることを祈りつつ締めさせていただきます。本当にありがとうございました。(東京 Iくん)

●今回二度目の愛郷の手伝いへ参加できて嬉しく思う。前に愛郷に行って以来、「また愛郷へ行きたいな」と思っていて、母から「愛郷の手伝い、また募集してるよ」と聞き、これはぜひ行きたいということで参加させてもらった。今回は前とは違い、大掛かりな作業で物もとても重かった。でも、みんなで協力して運搬をしてとても楽しくもあった。今回荷物を運搬していて感じたことは、今回も常に神様の祝福があったなということ、聖書の世界が身近に感じられたこと、制作された人々の熱意と技術だった。

まず、神様の祝福については、はじめから最後までほんとに祝福されていたと思った。愛郷に行く前の準備の際、防護靴や作業服を持ってくるようにとのことだったが、作業中動きやすかったし、運搬時、荷物がとても重く足を挟まれそうなきも、ごみの処理のとき、危ない物を踏んでしまうことも少なく、安全も守られたと感じた。今回チアオフィスに前泊したが、僕は早起きが苦手なのですごく助かった。愛郷での作業の数時間

だけ雪が降ったが、積もらなかった。少なくとも僕とJ君はとても楽しめ、交通も守られて、本当に神様ってすごいな、と実感した。「検査に通過できないかも」といわれていた荷物が何事もなく無事通過し愛郷に届いたことは、すごいと思った。一時は「もし荷物が来なかったらどうなるのだろう」と考えた。愛郷温泉に行った帰り道には、野生のニホンジカに遭遇できた。そして何より、作業が早く終わり予定の一日前に帰れたのは、いい意味で思いがけない出来事だった。

次に聖書の世界が身近に感じられたことについては、とても貴重な体験だった。レプリカではあるが聖書時代の品々を実際に目にし、手にして、「聖書に出てくる時代の人々はこういうものを使っていたんだな」と聖書の世界を身を持って体感できた。たとえば木製のリアカー（のようなもの）は、車輪や車輪の軸までもが木でできており、当時の人々の器用さや生活を思い起こさせ、陶器類は当時の人々がどのような食生活をしていたのだろうかと思わずにはいられなかった。

続いて制作された方々の熱意と技術については、「素晴らしい」の一言に尽きる。作品はエイジング加工で聖書時代の品々を忠実に再現され、見ているだけで聖書の世界に入り込

めてしまうような物であった。これも神様の力なしでは成り得なかっただろう。実に制作者たちの熱意が伝わってきた。

今回、大勢の人が参加し、その中でたくさん良い交わりができたことも良かった。運搬中は声をかけ合ったり、協力し合い良いチームワークだったと思う。そして、大小軽重さまざまな荷物がある中でもお互いに笑顔で楽しく運搬できた。作業時以外でも、あんまり話したことがなかった子と親しくなれたり、すでに友だちの子ともより親交を深められたかな、と思う。この愛郷の手伝いで神様をより身近に感じられたとともに、素晴らしい体験ができたと思う。そして、次回もまたぜひ参加したいと思った。（神奈川 Jくん）

★★★★親の皆さんから★★★★

●昨夜、息子が無事帰宅いたしました。疲れではいましたが充実感のある表情をしていました。良い機会を与えてくださり感謝します。作業も順調に進んだとのこと、主の御名を賛美します。今後ともよろしくお願いします。

（東京 Kさん）

●娘が帰ってきました。5日間、本当にありがとうございました。多少不安だったようですが、仕事そのものに集中出来、また年下の子どもたちがなついてくれて、可愛くて仕方なかった、充実していた、と帰ってくるなり興奮気味に話してくれました。一方で、チアスタッフと丸森の皆様にはいつもながら大変お世話になりました。ただですらハードな仕事に加えて、子どもたちへの様々なご配慮やご心配もあったと思います。税関も無事にク



リアしたそうで、このプロジェクトに対する神様の祝福を感じます。娘も聖書に出てくるアイテムに興味深く見ていた（また運んだ）とのこと。最近、考古学にも興味を持っていたので Good timing! でした。本当にお疲れ様でした。どうぞ、ゆっくりお休みになってください（可能な限り）。感謝して

（東京 Lさん&Mさん）

●息子が大変お世話になり誠に有難うございました。日頃、このような訓練を与える機会がなかなかありませんでしたので、主の為に働くことを学べたのは本人にとって、大きな益となりました。神の民とともに働く素晴らしさを体験させてもらえ、み言葉を実践する場が与えられ、兄弟姉妹の交わりも祝福され、心より感謝します。バイブルミュージアムの為に祈ります。今から楽しみにしています。主に栄光がありますように。

（東京 Nさん&Oさん）

●今回はじめて、このようなボランティア活動に参加できたことは、息子にとってとても貴重な経験となったと思います。40名以上の働き人もすごいです。食事や寝床、灯油の準備などのバックアップして下さった裏方の方々にも感謝申し上げます。次回もあるとのことですが、もし行けるようならまた行かせたいなと思っております。いろいろとありがとうございました。

（富山 Pさん）

●この度は息子が大変お世話になりました。息子がけがをしたと連絡をいただいた時は、本当にびっくりし、足の裏に釘がささっと聞き、どの程度の傷なのか、心配になりました。けれどもお医者さんからも大したことはないと言われたとことで安心しました。今日無事に家に着いた息子の足の裏を見ましたが、ほとんど傷口がわからないくらいでした。わざわざ、診察を受けさせて

下さったこと、本当にありがたく思っています。細やかな対応に感謝します。イエス様が十字架の上で私たちの罪のために打たれた傷を思います。どれだけの痛みを受けられたか、息子の痛みなど、取るに足りないものです。ただ、主のあわれみに感謝します。これからも、よろしく願いいたします。主に在って。

（富山 Qさん）

●愛郷でのボランティアでは子どもたちが大変お世話になりました。ありがとうございます！とても貴重な体験で、二人とも素晴らしいリーダー達と、同世代のホームスクーラーと一緒に過ごし、本当に楽しい時間だったようです。娘は今でも、ほとんど毎日私に愛郷でどんなことがあったのか、話を聞かせてくれます。また、新しいお友達とも文通を始めました。

（奈良 Rさん）

慶應義塾大学 赤林・大垣教授から 「世界観の経済行動への影響」研究に ご協力への感謝とお願いです

2011年より2014年まで毎年と2016年の白馬セミナーで、また2013年より2015年まで毎年コンベンションでも同様の研究を実施し、多くの方にご協力いただき、心から感謝しています。次回はチア・コンベンション2017の参加者の皆さんに、私どもの研究へのご協力をお願いいたします。ご協力いただける方には、アンケート調査とともに、親子でゲーム式実験に参加していただけます。協力謝金をお支払いします。アンケートと実験結果は研究目的以外には使用しません。詳細はコンベンション参加者の方に郵送いたします。（今年は白馬セミナーの実験予定はなく、年に1度の機会です。）

Keio University



お問い合わせは、慶應義塾大学 大垣研究室

メール：mogaki@econ.keio.ac.jp 電話：03-5418-6403

赤林英夫 慶應義塾大学経済学部 教授
大垣昌夫 慶應義塾大学経済学部 教授